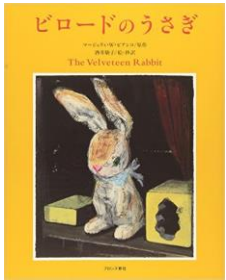


児童室だより

春日井市図書館
2016. 10月号

としょかん せっち かく ほん しょうかい
図書館に設置されている各コーナーからいろいろな本の紹介をしています。
こんかい
今回のテーマは「たいせつないのち」です。



ビロードのうさぎ

(小低) マージェリィ・W.ピアンコ/原作
さかい こまこ 酒井 駒子/絵・抄訳
ブロンズ新社 E/フロ/11-28

ぼうやの家にビロードでできたうさぎのぬいぐるみがプレゼントされました。けれど、新しいプレゼントをもらったぼうやは、ビロードのぬいぐるみの事を忘れてしまいます。

あるばん、ぼうやが熱を出し、ビロードのうさぎがそばにいることになりました。その日からぼうやとすごすことになったビロードのうさぎは楽しい日々をすごしていきますが・・・。

おもちゃにも『いのち』があることを教えてくれる絵本です。



おにいちゃんがいってよかった

(小低) ほそや りょうた ながい やすこ
細谷 亮太/作 永井 泰子/絵
岩崎書店 E/イワ/03-26

きょう 今日、お兄ちゃんの誕生日。お兄ちゃんの大好きなケーキを、いつものように4つに切りました。でも、お兄ちゃんは、もう...いません。

びょうき 病気でなくなったお兄ちゃんとの思い出が、いっぱいありすぎて、ときどき、悲しくなってしまうかもしれないけど、少しずつ強くなっていく、みなみちゃん。

いま 「命」について、一緒に考えてみませんか？



いのちをいただく

(小中) うちだ みちこ もろえ かずみ
内田 美智子/文 諸江 和美/絵
さとう こうし 佐藤 剛史/監修
西日本新聞社 64/イ/09

しよくにかこう 食肉加工センターで働く坂本さんは、牛を殺してお肉にする仕事をしています。牛を殺すなんて、かわいそうだと思いますか？

この本では「食」に関わりのある仕事の人たちが、どう「いのち」と向き合っているかが書かれています。私たちが食べているものは、元は大切な「いのち」。忘れてはいけない、大切なことに気づかせてくれる本です。



むのたけじ 100歳のジャーナリストからきみへ 生きる

(小高) むの たけじ/著 すが せいこ
汐文社 15/ム/15

あなたにとって、「100歳」って、あと何年後？

あと88年？ あと90年？

そう、100歳まで生きるって、とっても大変なこと。

そして、それだけ他の人より多くのことを経験しているってこと...

そんな むのさんのお話、きいてみない？

今のあなたに必要な言葉が見つかるかもしれないよ。

ボランティアさんのおススメ本



わすれられないおくりもの

スーザン・バーレイ/さく え
おがわ ひとみ 小川 仁央/やく
評論社 E/ヒヨ/11-22X27

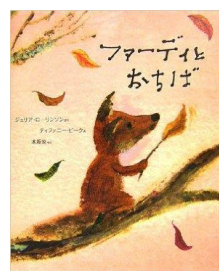
まわりのだれからもたよりにされていたアナグマが年をとって死んでしまいました。かけがえのない友だちをうしなったモグラたちはとても悲しみました。けれどもみんなアナグマのことをかたりあっているうちに...

だれもが大切な人をうしなう時があるかもしれませんね。そんな時、その悲しみをどうのりこえていくかをそっとかたりかけてくれる、そんな絵本です。このお話を読み終えた時にはきっとみんなの心の中にあたたかいものがのこっていると思いますよ。そしてみんなの心のかたすみにずっと残しておいてほしいお話です。

(朗読サークル秋桜)

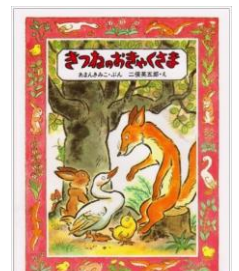
きつねの本

あき 秋です。心にひびくきつねの本を紹介します。



ファーティとおちば

ジュリア・ローリンソン/さく
ティファニー・ピーク/え
木坂 涼/やく
理論社 E/リロ/08-27



きつねのおきゃくさま

あまん きみこ/ぶん
ふたまた えいごろう
二俣 英五郎/え
サンリード E/サン/98-29

春日井市図書館・児童室のご案内

開館時間：火曜日～日曜日 午前9時～午後8時

休館日：月曜日(休日の場合は、その直後の休日でない日)

電話：(0568)85-6800

小学校のホームページからもアクセスできるよ
ホームページにあるバーナーをクリック →

